



府中市議会議員

第7号 令和5年11月

後援会討議資料

真田 さなだ みつお

市制70年、幸せが実感できる100年に向けて

府中市議会議員の真田みつおです。

今年の夏は備後国府祭り、盆踊り、キラリン★夜店、そして地域の秋祭りと賑やかな活気が戻ってまいりました。子ども達の元気な声が響く町の雰囲気、どこか懐かしい気持ちと、"やっぱりええなあ"と思われた方もおられたと思います。

今から70年前、1954年3月31日6か町村(芦品郡府中町、岩谷村、広谷村、国府村、栗生村及び下川辺村)が合併して市制を施行し、人口3万3123人、面積48.46km²の府中市が誕生しました。

令和6年3月 市制70周年を迎えます。地域課題を克服しながら「選ばれるまち、府中市」の実現に向けて取り組みます。

令和5年 第3回 府中市議会定例会(9月)

一般質問【市制70周年事業について】

Q. 70周年記念事業は、府中市としてのどのようにしたいのか。
その計画内容や進捗状況を伺う

- A. 市制70周年事業は、一過性のイベントではなく、未来への発展を目指して様々な取り組みを行う考えがあります。
- これまでの周年事業では、若手の市職員による提案を形にしてきたが、このたびは市職員からだけでなく、市民や企業、地域の皆様へも幅広く募集することで、参画をしていただき、市民が一体となってこの市制70周年を盛り上げていくことを目的としています。
- 6月には庁内プロジェクトチームを立ち上げており、今後、市民や企業からの提案を募る予定です。
- 来年、3月20日に記念式典を開催する計画があるが、その他の事業も年内に選定し、市民の皆様にも広くお知らせする予定です。

厚生委員会 管内視察(8/21)

「尾道市向島町」

活動報告

尾道市立向東認定こども園を管内視察しました。就学前教育・保育施設再編計画で、幼稚園の良い所と保育園の良い所を掛け合わせ、幅広い支援が可能になったそうです。府中市内には、未だ認定こども園が無いので、とても良い学びになり、厚生委員会で引き続き、調査研究を行いたいと思います。



市町村議会議員研修(10/10~12) 滋賀県大津市

「人口減少社会における議会の役割」

統計データを用いて未来予測した「未来カルテ」のワークショップを行い、将来起こりそうな課題の発見と、課題解決方法を多角的に考えることができました。未来カルテによると、未来の課題は、少子高齢化により、医療福祉従事者不足、幼稚園・小学校の統廃合、耕作地放棄、自給率や農業従事者の減少、空き家問題等、さまざまな課題があります。しかし課題には、必ず課題解決方法があるはずで

ずです。人が少なくてもできるDX推進やお助けロボット、オンライン会議やサテライトオフィス等、新しいものが生まれています。現在から未来を見るのではなく、未来から現在を見て、必要な物や足りないサービス等を考え、新たな進化を追求し、私たちの未来を共に創りましょう!

創生会・公明党 行政視察研修(10/16~18)(25~26)

豊田市、名古屋市、立命館大学、北九州市、津屋崎ランチ

豊田市は、「中山間地域における高齢者の移動支援の取り組み」。名古屋市は、「西山商店街の取り組み」。立命館大学 SOFIX は、「持続可能な農業の土地づくり」。北九州市は、「統一地方選挙の検証と地方議会の課題」。津屋崎ランチは、「対話による協働のまちづくり」について視察研修をしてきました。この調査結果は、創生会で検討し、府中市への提言に活かしてまいります。



「真田みつお後援会」～概要～

- ・活動目的：真田みつおの政治理念に賛同し、支援する。
- ・活動内容：講演会、座談会、活動報告など
- ・後援会費：0円(入会金 0円)

・申込方法：下記の記入欄に必要事項をご記入ください。

同意します 貴会の趣旨に賛同し、「真田みつお後援会」に入会します。

※頂いた個人情報は後援会活動のみに使用し、他の目的には使用いたしません。
※電話番号のご記入は必須ではありません。

ご紹介者【 】

ふりがな お名前	ふりがな お名前
ご住所 〒	ご住所 〒
TEL E-mail	TEL E-mail

真田みつお後援会事務所
〒726-0003 府中市元町 444-19
TEL/FAX 0847-44-6096
<https://www.sanadamitsuo.com/>
E-mail: magokoro@pear.ccjnet.ne.jp

FAX 0847-44-6096

お申込みは、
FAX または QR コードで
お願い致します。



真田みつお(真田光夫)プロフィール

1963年1月生まれ 60歳 府中市出口町出身
趣味:読書・ギター 特技:神主
広谷小学校・第二中学校卒・戸手商業高等学校 卒業
府中天満屋内でお好み焼き「グーニーズ」を起業
真田光夫保険事務所 所長



活動報告など
配信



経歴

府中市消防団 / 府中商工会議所青年部 会長 / 県連商工会議所青年部 副会長
小野神社 総代(継続中) / NPO 法人 いこる de BINGO 理事(継続中)
一般社団法人 備後府中サッカー協会 専務理事

デジタル化、推進中！

府中市役所「書かない窓口」導入 →→ 申請書の記入が不要！

窓口のDX化推進のため、利用者だけでなく市職員にとっても利便性向上を目指すもの。
マイナンバーカードとパスワードがあれば、
パソコンをタッチして手続き時間の短縮になります。

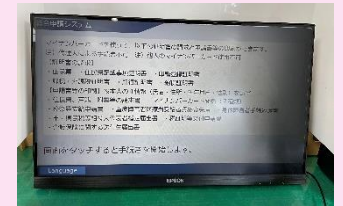
全国の304自治体(17.5%)が導入しているそうです。
(出典：総務省窓口業務改革状況簡易調査 2023年6月21日時点)

今まで通り「書く窓口」もあります。
職員も近くにいますのでご安心ください。



【申請方法】

- ① マイナンバーカードをカードリーダーに置く
- ② 総合申請システムに入力
- ③ 受付番号を取る
- ④ 窓口へ行く



容器包装プラスチックごみ収集 月2回 → 週1回へ！

真田みつおは、府中市議会議員出馬時に3つの公約を掲げておりました。

1. 住みたい田舎ランキング 1位
2. デジタル化で府中市を活性化
3. 家庭ごみに着手(プラ・資源ごみの収集回数を増やす)

この度、9月定例会で、
創生会代表 福田議員が「プラごみの収集について」質問したところ、
府中市と収集事業者の双方で素案を整理し、
令和6年4月より、容器包装プラスチックごみの収集回数を、
「月2回の収集から週1回の収集に変更する」
と答弁が、府中市からありました。

公約
実現